

愛媛森連時報 8月号

発行所 松山市三番町4丁目4番地1 愛媛県森林組合連合会 印刷所 松山市福音寺町728番地 平和印刷工業株式会社
電話 089-941-0164 FAX 専用 941-0550 電話 089-947-9155 (購読料1ヶ月120円)

令和五年度愛媛県森林組合職員連盟 総会及び令和六年度研修会の開催

令和六年六月二十一日、えひめ共済会館において令和五年度愛媛県森林組合職員連盟総会が四年ぶりに開催された。来賓として仙波元衛 愛媛県農林水産部森林局長、高山康人 愛媛県森林組合連合会代表理事専務、大金浩 農林中央金庫高松支店四国営業部長(代理 原昭仁 次長)に出席いただいた。

愛媛県森林組合職員連盟 提出議案

- 令和五年度 事業報告並びに収支決算書承認の件
- 令和六年度 事業計画書(案)並びに収支予算書(案) 承認の件
- その他

また、総会終了後は令和六年度愛媛県森林組合職員連盟研修



会が行われ、原昭仁農林中央金庫高松支店四国営業部長(代理)による「森林組合に於けるコンプライアンス態勢の構築について」と佐々木太郎 全国森林組合連合会理事による「森林組合をどうデザインするか」環境変化と組合基盤の変化」があり、双方向型として、職員との所属組合の実情や取組などの意見交換が行われた。講演を参考に、各森林組合での事業推進に役立てると同時に、懇親会も行われたことと職員同士の連携や繋がりをより強固にできた研修会となった。

令和六年度森林保険全国担当者 会議・愛媛県森林保険担当者会議

令和六年五月二十一日(火)午後、対面とリモートのハイブリッド形式で開催され七十八名が参加した。森林保険センター馬場敏郎所長の開会挨拶より会議が始まり、まず林野庁計画課米井森林保険課長補佐より「森林保険制度の運営について」全国森林組合連合会早瀬部長より「森林組合システムにおけるコンプライアンスについて」説明があった。

森林保険センターは、森林保険加入率が年々下っている現状を危惧しており、島内審議役より「業務の適切な実施及び加入活動の強化について」また、保険推進課長部部長より「令和六年度の普及・加入促進活動の取組について」話され後半には質疑応答を含め、会議参加者全体で意見交換を行った。加入促進については、経営管理制度による市町村へのアプローチや令和六年四月からの保険料率値下げに伴い長期契約キャンペーンと銘打って促進活動に取り組みされた県の話等が紹介された。



令和六年五月二十一日(火)月二日(火)に愛媛県森林保険担当者会議を県下十三組合の森林保険担当者十七名が愛媛県森林組合連合会の大ホールに集まり五年ぶりに開催した。

森林保険センター担当者より保険業務部・島内部長、業務課の長谷川課長、業務課の矢野課長補佐の三名によるオンラインで「森林保険概要・コンプライアンス・引受・契約管理・損害填補事務について」お話しただけだ。その後、県森連近藤職員が令和五年度愛媛県の森林保険加入現状報告や業務留意事項について説明し、直接情報を共有出来て有意義な時間となった。

令和五年度の全国森林保険加入面積は約五十三万ha、森林保険加入率は六・七%と令和四年度の

の六・九%から減少。愛媛県の森林保険加入率は、八・一%で、全国比率よりは良いものの昨年度からは〇・四%減少した。市町村有林の継続加入率が下がっていることが気になる。森林経営管理制度による集積計画や配分計画を算定予定の市町村に対し促進活動を継続していきたい。令和六年度も森林保険の普及促進にご協力をお願いしたい。また、令和五年度愛媛県の損害保険金支払件数十九件、支払額約五〇〇万円だった。今年は、昨年の猛暑による干害被害報告が上がっている。

令和六年度の森林保険業務講習会は中四国地区では、十一月十三日WEB講習、十五日現地講習が島根県で開催。ドローン技術講習は十一月七日・八日に福岡県で開催される。

損害調査は、森林保険センターが認定した実査業務従事者しか出来ないため、受講を検討してほしい。

第六十六回「愛媛県しいたけ祭り」開催

令和六年六月五日愛媛県並びに愛媛県森林組合連合会主催による「第六十六回愛媛県しいたけ祭り」が伊予市のIYO夢みらい館に於いて開催された。

愛媛県知事代理 田中英樹 副知事から「本県は長年にわたり、全国有数の原木乾燥しいたけの産地となっているが、生産者の高齢化による担い手不足、異常な高温や雨不足等の不安定な気象条件の影響を強く受け産地の維持に向けた対策が緊急の課題である。こうした中県においては、原木の導入や散水施設等に対する支援、消費拡大に向けたプロモーションなどを実施している。生産者の皆様におかれましては、安心して高品質な愛媛県産原木乾燥しいたけを消費者に届けていくようお願いいたします。」との

挨拶が述べられた。

今年の共進会には、厚物の部どころ七十点、こうしん百六十七点、薄物の部 こうしん百六十七点、合計二百七十八点が出品されており、農林水産大臣賞二点、林野庁長官賞三点、愛媛県知事賞六点、愛媛県森林組合連合会長賞九点、愛媛県椎茸生産販売協議会賞十七点、協賛団体賞九点が選定された。

愛媛県しいたけ共進会 受賞者(敬称略)

農林水産大臣賞

厚物の部 こうしん 高岡 貴幸(大洲市大洲)

薄物の部 こうしん 黒田 利光(大洲市肱川町)

林野庁長官賞

厚物の部 どんこ 向井 宏文(大洲市大洲)

薄物の部 こうしん 中川 定美(西予市城川町)

厚物の部 どんこ 岡本 龜格(大洲市長浜町)

愛媛県知事賞

厚物の部 どんこ 袋田 直裕(伊予市双海町)

梅岡 サワ(大洲市大洲)

岡本 正暉(大洲市長浜町)

大成 豊功(大洲市長浜町)

薄物の部 こうしん 松本 正光(伊予市中山町)

西下 忠士(伊予市双海町)



令和六年度愛媛しいたけ生産者大会開催

共進会に続いて、開催されたしいたけ生産者大会では、愛媛県森林組合連合会生産者連絡協議会、大成豊功会長の開会のことばで始まり、愛媛県森林組合連

合会の芝芳代表理事専務（大会長）による挨拶の後、「愛媛県しいたけ生産功労者表彰」が行われ、三名の方が表彰の栄に輝いた。表彰終了後しいたけ生産



受賞者(敬称略)
生産功労者 岡本 実男（喜多郡内子町）
生産奨励者 河野 史典（喜多郡内子町）
城本 誠一（大洲市長浜町）

生産者大会の決議

我々、乾しいたけ生産者並びに森林組合系統団体は、国内の乾しいたけ生産・販売を取り巻く厳しい情勢を打破するため、愛媛の豊富なクヌギ原木を有効活用し、農薬や化学肥料を使用しない「安全で安心な、えひめ産原木乾しいたけ」の産地銘柄の確立と、えひめ産原木乾しいたけの生産振興と産地維持を図るため、下記事項を本大会の名において宣言・決議する。

- 一、「愛」あるブランド産品
えひめ産原木乾しいたけの生産振興と産地の維持
- 一、「愛」あるブランド産品
えひめ産原木乾しいたけの消費拡大と価格の向上

令和六年六月五日

愛媛県しいたけ生産者大会

県森連の情報は随時更新しています。

「愛媛県森林組合連合会」と検索するか、QRコードを読み取ってください。
QRコードはこちらから



令和六年度愛媛県森林組合系統新入職員研修会開催

令和六年四月二十五日（木）と二十六日（金）の二日間で、令和六年度愛媛県森林組合系統新入職員研修会を開催した。今年度は昨年の五月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが五類に移したため、久しぶりに二日間研修を開催し、各森林組合と連合会からあわせて十一名が参加した。

一日目は、全国森林組合連合会の早瀬組織部長に「森林組合系統の役割について」を講義いただいた。講義では、全国的事例紹介や、森林組合系統組織について、森林組合職員として働くうえで大切なことを丁寧に教えていただき、研修生からも分かった。次に「農林中央金庫の鎌倉氏と田巻氏に「コンプライアンスについて」「ビジネスマナーについて」講義いただいた。「コンプライアンスについて」は、社会人としての心構えも含め、コンプライアンスの重要性について理解を深めた。「ビジネスマナーについて」では、ペアになって電話対応の練習を行ったり、研修会の全参加者と名刺交換をするなど、実際に行動してビジネスマナーについて学ぶことができた。最後に愛媛県森林組合連



合会宇田主幹課長から「労働安全について」労働災害の未然防止についての基礎知識を動画等交えながら講義した。

二日目は、午前中に県森連大塚職員から「ビジネスコミュニケーション」「ITスキルについて」「県森連近藤職員から「グループワーク」の講義を行った。「ITスキルについて」は、社会人としての基礎知識としてエクセルやワードについての実演や研修生自ら何を作成し起案文書などのように上司に伝えるか等の講義を行った。「グループワーク」は、コミュニケーションを取る事が重要なグループワークであったが、各自で進行役などの役割を決め、伝えることの難し

さと大切さを学ぶことができた。午後からは、事業所見学として、松山木材市場や中野事業所内を見学し、林業には様々な分野があることを理解してもらい、普段目にするのがないから、研修生は積極的に質問を行い、充実した見学となった。これからも新入職員にとって有意義な研修となるよう、尽力したい。

えひめふるさと森林相談会

が、多くの森林所有者が来場し、コロナ禍前のような盛り上がりを見せた。来年度も開催する予定なので、今回参加を見送った森林組合、また森林所有者は、来年度にぜひ参加して欲しい。



令和六年六月八日（土）、林業会館内の三階大ホールで、「えひめふるさと森林相談会」を開催した。相談会は、所有している森林から遠く離れた都心部に住んでいて、森林組合に相談に行くことが難しい森林所有者を対象に全国森林組合連合会が毎年、東京と大阪で全国ふるさと森林相談会を開催しているが今回の相談会は、その愛媛県版で相談に来た方ほとんどが松山市在住であった。愛媛県内の全十三組合のうち、宇摩森林組合、内子町森林組合、久万広域森林組合の三つの森林組合が参加し、約三〇名の森林所有者が来場した。

相談会は午前十時から午後の十六時までであったが、開場前から既に相談に訪れる方がおり、大いに賑わった。相談内容は、所有森林の現在の状況確認が一番多く、次に森林の管理・森林の売買・境界や相続関係と続いた。相談にあたった森林組合は、森林の状況を見ることができ、ソフトや地図を活用し、森林所有者との話し合いに心じた。相談に訪れた森林所有者は、自身が所有している山に関する困りごとが解決し、「来てよかった」と晴れやかな様子であった。

ふるさと森林相談会の愛媛県開催は五年ぶりの開催であった

令和六年度林業功労知事表彰

令和六年六月五日、伊予市のIYO夢みらい館に於いて、林業の振興及び林業者の経済的社会的地位の向上並びに個人を表彰する、令和六年度愛媛県林業功労者知事表彰式が行われた。本年度の受賞者は団体役員として宇摩森林組合 菊田耕一組合長、団体職員として、南予森林組合 渡邊齊氏、愛媛県森林組合連合会 弓立守氏が表彰された。

